

はじめに

本研究室では1999年度以降、対象とする都道府県を変えながら巡検・調査を行い、報告書にまとめてきました。ここにその17冊目として「大分県巡検報告書」を作成することができました。報告書は前半の地誌学的研究(2回生)、後半の個別調査研究(3回生)の2本立てになっていますが、地理学専攻学生の減少によりそれぞれ2本、4本の報告に留まっています。特に、前半の地誌的内容は項目も限られたものになっています。

本報告は選択必修科目「地理学実習Ⅰ(2回生)」「地理学実習Ⅱ(3回生)」の成果です。実習でははじめに、野澤・堂前・手塚編「日本の地誌10 九州・沖縄」の大分県地誌を分担講読し、県の基本的性格を理解しました。これを踏まえて、各自が関心を持った項目についてインターネットなどによる調査を行い、具体的なテーマ・地域を確定していきました。その後、現地での調査計画を立て、対象機関への資料請求、聞き取り調査の依頼などを行いました。現地調査は2015年9月7日(月)～10日(木)に実施し、その後は必要な追加調査を行いつつ、成果をまとめていきました。

毎年書いていることですが、先輩から後輩へ受け継がれるノウハウの蓄積により、地図表現などに進歩がみられる反面、調査期間が短いことに加え、聞き取り調査に不慣れなこともあり、未完成な部分が多い報告になっています。しかし、失敗も含めた今回の経験が4回生の卒業研究、さらには将来の社会生活に結びつけばと考えています。そのためにも皆様方から御批評を頂ければ幸いです。

調査に際しては、大分県庁をはじめとする多くの方々にお世話になりました。末筆ながら、記して御礼申し上げます。

2016年2月

島根大学法文学部
社会文化学科地理学研究室

田坂郁夫
船杉力修
菊池慶之

「2015年度 大分県巡検報告書」

2016年2月 発行

発行 島根大学法文学部社会文化学科地理学研究室

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

Tel & Fax : 0852-32-6168, 6181, 6183

e-mail geography@swan.soc.shimane-u.ac.jp

<http://www.gensha.shimane-u.ac.jp/geo/>
